

題材 「 未来のさくらちゃんを作ろう 」

4 時間中の第 3,4 時

(1) 学習のねらい

未来のさくらちゃんに興味を持ち、紙粘土を使って未来のさくらちゃんを作り始めた子ども達が、友だちの作品作りの動画を見ることを通して、自分一人では想起することのなかった新たなアイデアや工夫に気づき、鑑賞会も行いながら未来のさくらちゃんについて自分なりに表現を深めることができる。

(2) 本時の学習材

友達の作品作りの動画

- 子ども達が前時までの活動を思い出し、作品作りを始めたいと感じたところで学習材を提示する。
- 本学習材は、教師が子ども達の作品作りの中で撮影した動画である。この学習材を見ることで、自分一人では想起することのなかった表現方法やアイデアに出会うことができるだろう。そして、作品作りが難しいと感じている子ども達が、自ら前向きに作品作りに取り組めるようになることに期待する。

(3) 学習の展開

過程	学習活動	予想される子どもの動き	時間	指導と評価
課題把握	1 前時の活動で友達の工夫しているところをモニターで確認する。	学習問題 さくらちゃんの未来ってどんな感じ？ ・色の混ぜ方がいいな。 ・きれいだな。 ・こんな粘土の使い方があったんだね。 ○他にもいろんな工夫ができそうだな。	5'	・模造紙で前時の活動を振り返る。 ○紙粘土で未来のさくらちゃんを作ったことを思い出したところで学習材を提示する。
展開	2 前時の続きで創作活動を行う。 ①紙粘土 ②箱の装飾	・さくらちゃん完成した！ ・箱も装飾したいな。 ・時間がないよ！！ ・もっとやりたい！ ・難しいけど楽しいな。	60'	学習材 友達の作品作りの動画 ・3,4時間目の間の休み時間は休憩を取りたい子は休憩を取らせるようにする。 ・机間指導で悩んでいる子には一緒に考える。 ・取り組む時間を指定し、時間に遅れないようにする。
終末	学習課題 友達の作品を見て、さくらちゃんのイメージをもっと想像してみよう。		15	・作品作りを終わり、鑑賞シートを配って友達の作品の工夫しているところを書く。
	3 友達の作品の鑑賞会をする。	・○○ちゃんは顔も粘土で作ったんだ ・これ何？ ○さくらちゃんの将来のために自分ができることをもっとやりたいな。 ○いろいろなさくらちゃんの未来があるね。	10'	評価 友達の作品作りの動画を見たり鑑賞したりして、いろいろな工夫を加えながら未来のさくらちゃんについて自分なりに表現することができる。
	4 振り返り・片づけ	・頑張ってさくらちゃんの赤ちゃんがみたいな。 ・さくらちゃんのこんな未来は思いつかなかったな。		